



あなたの声をリレーする

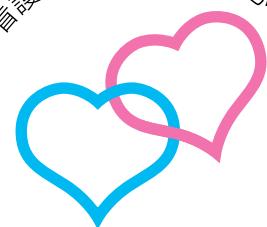


石田まさひろ200人集会

## CONTENTS

● 石田まさひろ200人集会	2-4P
● 総会案内	5P
● おじやまします	6-7P
● 青年部 研修報告	8-9P
● 会長対談	10-13P
● オススメcafé	14-15P

看護の心を、みんなの心に



## 石田まさひろ200人集会inふくしま

日時：2024年3月24日 9:40～12:00

場所：福島県看護会館 みらい



福島県看護協会との協賛で石田まさひろ議員をお迎えし200人集会が開催されました。石田議員が入られた直後に歓声が上がり、多くの参加者とグータッチしての入場となりました。その後に写真撮影となり、熱気の中での講演となりました。

基調講演は「看護の未来を見据えて、今やるべきこと」がテーマでした。議員からは、1990年から2020年までの30年間に看護職は2倍に増えている。しかし、現場にはその実感がない。記録類が増えていることは一つの要因であり、「患者の安全」に関する業務量の増加と考えられる。今まででは「患者中心」の考え方の中に、患者自身を「受け手」として存在させてきた。今後は「患者の思いや目標を中心」に、目標達成のための伴走者として信頼関係を軸に繋がっていくべきと話された。

まとめとして、「職業としての看護だけでなく、看護の視点や価値観で人と人に生きることを意識したい。」「生活する、生きることへの実感が、取りも直さず看護のケアの質につながる。」と話された。

シンポジウムは「いい看護をするために、今なすべきこと」がテーマでした。座長は協会・連盟の両佐藤会長であり、シンポジストは5名の先生方でした。

北福島医療センター 看護部長	平野 典子氏
星総合病院 法人総務人事部	齋藤 裕子氏
池田記念病院 看護部長	畠岡 セツ子氏
有隣病院 看護部長	高橋 信江氏
ときわ会グループ事務局 相談役	森屋 浩子氏

シンポジストからは、地域医療の現状や、働き続けられる職場づくりに苦心されている様々な問題が提起されました。その後、未来の働き方はどうあるべきか、今何をなすべきかの2点についての討論が行われました。「患者さんによりスピーディに医療を届けるためのタスクシフト」が、看護業務の負担軽減につながるという点や、看護師でなければならないことに注力する覚悟、今できることを考え続けること、学び続けることと、看護師としての誇りを失わないことなどが確認できたシンポジウムでした。



## 石田まさひろ200人集会inふくしま

司会の水落明日香さん(会津中央病院)の進行により、昨年12月のポリナビワークショップで学んだ講義を活かして 石田まさひろ議員の応援演説を委員長の野崎莊志さん(総合南東北病院)OB(元副委員長)の安田巨樹さん(会田病院)のお二人が行いました。

石田議員が幹事長だったころの研修に参加し「連盟活動をするきっかけは石田議員の研修会だった」などの話やエピソードトーク・思い出話もあり、会場の参加者に石田議員の人となりや政策を再認識していただき、かつ笑いもありの頼もしい応援演説でした。



ガンバローコールは武田良平さん(福島赤十字病院)が「後援会活動頑張ろう!!」と今年度の後援会活動に弾みをつけ大いに盛り上りました。



青年部は当日会場係を担当し、赤のフラーペーパーや折り紙の金魚の準備等も行い、当日の会場を大いに盛り上げてくれました。



## 2024年度 福島県看護連盟通常総会 プログラム

日時:2024年6月29日(土) 9:30~12:50

会場:郡山ビューホテル

9:00 開場・受付

9:25 オリエンテーション

9:30 開会

物故会員への黙とう

挨拶 福島県看護連盟会長

来賓祝辞

祝電披露

10:10 議長団選出

報告事項

1. 2023年度 福島県看護連盟通常総会報告

2. 2023年度 日本看護連盟主催 会議報告

3. 2023年度 福島県看護連盟主催 会議報告

4. 2023年度 福島県看護連盟・地区・支部 活動報告

5. 2023年度 福島県看護連盟 決算報告

6. 2023年度 福島県看護連盟 監査報告

審議事項

第1号議案 2024年度 スローガン(案)

第2号議案 2024年度 活動計画(案)

第3号議案 2024年度 収支予算(案)

第4号議案 参議院選挙対策(案)

10:50 議長団解任

自由民主党福島県支部連合会看護連盟支部報告

綱領宣言

11:00 総会閉会

休憩

11:10 特別講演

11:15 特別講演I テーマ 「2024年日本看護連盟の重点事業計画」

日本看護連盟 常任幹事 福田 淑江 先生

11:55 特別講演II テーマ 「ピンチはチャンス」

講 師 和歌山県看護連盟 会長 川村 健太 先生

12:50 閉会



通常総会申し込みQRコード

こちらのQRコードより

福島県看護連盟通常総会

申し込みをお願いいたします。



おじやま  
します。

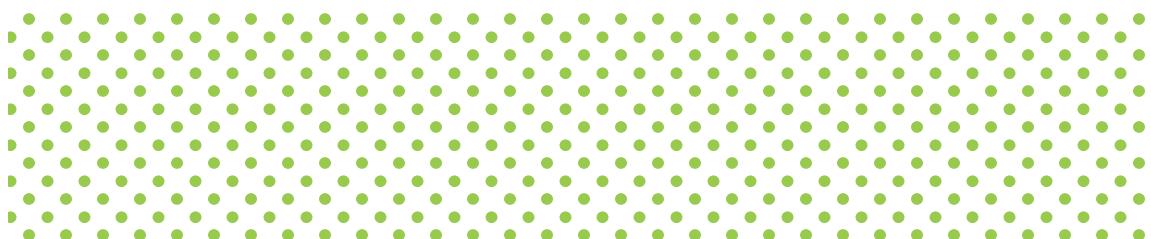
Vol.13

訪問看護・介護事業所

# ReHOPE(リ・ホープ)郡山

終末期のがんや難病の方が、残された時間を自分らしく生活することに重点を置き、自宅に近い環境で過ごす「ホスピス型住居」が増えています。

今回は、2023年6月に開設された「ReHOPE郡山」におじやまして、施設長兼介護管理者で看護師の水野雪江さんにお話を伺ってきました。



01

## コンセプト



施設名「ReHOPE」には、再び、何度でも。前を向いてという意味があります。ご本人やご家族の心に寄り添い「自分らしく生きたい」という想いを大切にしながら、少しでも希望が叶えられるようその方にあった日々の生活を支援します。

02

## 自分らしく



一人一人の「～したい」と思うことを自分らしく選択しながら過ごすことができます。

「絵が描きたい。旅行に行きたい。」など本人の意欲や希望をスタッフ間で共有し、実現にむけて支援していきます。実際に、家族とスタッフが付き添い、ALSの方と公共交通機関を利用して鎌倉まで遠出をしたり介護タクシーでいわき図書館行かれたこともあります。その成功体験がご本人の励みとなり、新たな希望を作り上げたりします。そしてそれがスタッフのモチベーションアップにもつながっています。

## 03 サポート体制



看護師や介護スタッフが24時間365日常勤し支援しています。

施設内での1日のスケジュールは訪問看護(バイタル測定や医療処置など)や、訪問介護(排泄介助・入浴・体位変換)や、生活支援(食事介助・スタッフコール対応)を組み合わせた個別計画が立てられています。医療保険と介護保険を活用し、看護師・介護士・理学療法士・生活支援員で安心できる暮らしを支えています。

医療依存度の高い人工呼吸器や瘻孔管理・ドレーン管理の必要な方には、看護師の介入も可能です。連携体制も整っており、在宅医の訪問診療や薬剤師による訪問も行われています。

## 04 癒しの空間



自宅と変わらない居心地の良さを目指しています。居室はあくまでもその方の自宅です。病人ではなく「ご本人」と対応していきます。

趣味の展示や季節のイベント、リクリエーションなども企画しますが、原則自由参加です。他の入居者の方との交流も「ご近所付き合い」のイメージが理想です。



1階ロビーに絵画の展示がありました。

作品を制作された入居者の方と、スタッフの方々の写真を撮らせていただきました。

### ● 取材の感想と御礼



水野施設長だけでなく、スタッフみなさんの笑顔が印象的な取材でした。「イベントよりも日々を支えることが大切」と言われた水野施設長の言葉が心に刺さりました。「貴重な時間を前向きに生きる!を支える」仕事は、看護の原点であると再認識した取材となりました。ありがとうございました。

## 看護管理者 新春のつどい(福島県看護協会共催)

日時:2024.1.12(金) 場所:福島県看護会館 みらい 参加者:84名

講義I 「看護の未来を考える」 日本看護連盟会長 高原 静子 先生

○看護政策の実現に向けては「まず選挙に行くこと」看護師自身がどうありたいか考え提言していくことが求められていることを学んだ。

講義II 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」改定を踏まえてー 看護師がいきいきと働くために 日本看護協会常任理事 森内 みね子 先生

○30年ぶりに改訂された看護師等確保基本指針の改定の主な内容と日本看護協会の看護師確保対策・働きやすい職場づくりに向けた対応等を話された。

お二人とも、熱心でエネルギーのある講義で、引き込まれ、勇気づけられた思いだった。

## 新年交礼会

日時:2024.1.27(土) ハイブリット 参加者:100名

講演I 「看護の動向」 衆議院議員 亀岡 偉民 先生

講演II 「その時、匠が動いた!」 衆議院議員 根本 匠 先生

講演III 「初めての一般質問」 郡山市議会議員 遠藤 利子 先生

○当日は、事務所が停電となり開催が危ぶまれたが、復旧し開催することができた。講演からは、現場や地域の問題がどのように政策に繋がっていくのか学ぶことができた。

## 一般研修

日時:2024.2.21(水) ZOOM 参加者:140名

講義I 「キャリア形成における看護師特定行為研修」 —教育機関の立場から—

公益財団法人星総合病院 在宅法人事業部 在宅ケア認定看護師 戸崎 亜紀子 先生

○「看護師の業務として、診療の補助の中に含まれるのが特定行為である。看護の関わりの中で特定行為も含めた医療を提供することが、今後看護職に求められる」と話された。まだまだ特定行為を行える看護師が不足していること、特定行為により、あらゆる場面で看護師の専門性を発揮できることが分かった。

講義II 「看護師の特定行為研修修了者の実際の活動」—活動を通して感じた課題—

L-CUB訪問看護八山田 長山 遥 先生

○「特定行為のメリットはタイムリーな医療行為が実施できることである。社会の様々な変化に対応して質の高い医療・看護を提供したい」と今後の展望を話された。

各病院・施設での特定行為看護師から、活動における現状について意見交換があった。地域のため・患者さんのために必要な医療・看護を届けていきたいという強い思いを感じ共感した研修だった。



## ポリナビワークショップ2023 in 福島

ポリナビとは

「Politc(政治) Navigators'(航海士)  
Network(他の人と関わりを持つ)」の略

日時:2023.12.16(土) 場所:福島県看護会館みらい 参加者54名

I部 講義:「伝えよう自分の思い」 講師:アナウンサー 宮津みどり先生

II部 グループワーク:「作ってみよう!応援演説文」 模擬演説・模擬投票

ポリナビは、青年部が企画・運営するイベントです。第1部の「伝える力」については、日常生活や普段の業務の中でも生かせる内容でした。第2部では講演内容を生かしながら模擬応援演説大会を行いました。グループワークでは、4人の看護師職国會議員の1人を選び、応援内容の検討を行い発表しました。それぞれ身振り手振りを交えながらユーモアのある発表で、笑顔のあふれる応援演説大会となりました。その後どのグループの演説が一番心に響いたかを投票してもらいました。郡山市から実際に使用している投票箱をお借りし、本番さながらの雰囲気で投票を行いました。県内の病院の方々とグループワークを行うことで、情報交換を行ったり、看護師のつながりを作るきっかけにもなりました。

自分たちの未来が、少しでも働きやすくなるよう国に働き掛けていくことはとても大事です。そのために何ができるかを考え、選挙についての重要性について再認識することができました。これからも青年部の活動を活性化させていければと思います。  
(青年部 武田)



## 第2回青年部ブロックミーティング

青年部 SPGsとは

『Sustainable Poli-Navi Goals』

日時:2024.3.9(土) ZOOM

議題:青年部活性化委員会報告・全国での青年部活動の共有

日本看護連盟岡山亮憲幹事より、「SPGs」中間評価の報告がありました。今後、全都道府県で青年部支部を立ち上げるにあたり、ネットワーク作りや活動の可視化が必要になります。クラウド「チームポリナビ」活用や、Facebookでの情報共有を行い、さらなる若手会員の確保・育成につなげることが重要と感じました。

臨床の場でも同様ですが、参加してよかったという達成感や成功体験は人材を育てる糧となります。自分が経験したことを発信することで、共有する仲間がいることを実感することは、看護師全体にとって大きなメリットとなると感じました。

後半は各都道府県のポリナビの内容や活動を共有しました。ユニークで、さまざまな工夫を凝らした内容でした。今後も、福島県看護連盟青年部活動に取り入れたい内容ばかりでした。今回の参加を通じ、今後の活動を充実した内容になるように活かしていきたいと思いました。  
(青年部 水落)



# 現場の声はどこに？

一人を育み、人が根づく、活気あふれる福島県を目指して！—

インタビューの日は、くしくも震災から13年を迎えた3月11日。感慨深い思いを胸に、  
自民党県連総務会長の佐藤雅裕県議会議員にお話をうかがいに県庁に行ってきました。



## ○選ばれる地域づくりを目指して

会長：佐藤議員は震災直後に県議会議員になられ、今年で4期目になります。今年、特に力を入れていることがありましたらお聞かせください。

佐藤議員：以前は民間で半導体関係の仕事をしていました。教育環境や地域産業の問題に取り組みたいと市議会議員になりましたが、震災で一変しました。自分たちが前を向くために何をするべきかを考えました。自分の仕事に自信と誇りを持ち、子供たちもそれを理解し自分の力で実現するための教育をやっていこうと決意し県議会議員になりました。感染症や人口減少にも危機感があります。産業と教育は変わらずやっていきたいと思います。

会長：基礎学力と人間力の育成ということですね。

佐藤議員：学力向上も大切ですが、地域のお祭りなど子供を中心に親世代が集い、地域を仕切っている重鎮が子どもの名前まで知っているような地域創りが理想です。工夫しながら広い世代で子供を育て、福島の小学校、中学校、高校を出れば大丈夫というような教育環境の基準がしっかりできる地域になれば良いと思います。

## ○それぞれの役割分担

会長：福島県看護連盟では、昨年初めて遠藤利子さんを郡山市議会議員に挙げることができました。佐藤議員は市議会議員もご経験ですので、市議と県議の違いを教えて下さい。

佐藤議員：市議会議員は地域や職場、コミュニティーなど皆さんの身近な問題に取り組む議員で、そこで出来ないことは県議につなぎ、制度や予算の見直しなどを行い課題を解決していきます。国政は医療関係であれば星北斗参議院議員がいます。また皆さんの代表の石田まさひろ参議院議員や友納りお参議院議員に発言してもらうことも必要です。どうしたらできるかを考えるのが議員の役割です。遠藤さんもまだ行政や議会の動き方に慣れないと思いますが、新人議員としての初心を忘れず課題の実現に向け頑張って下さい。

## ○つなげる仕組み

会長：福島市の市町村連携、また福島市と郡山市が連携して行っていることなどはありますか。

佐藤議員：福島県は広いので、圏域の中で福島市、郡山市、いわき市、会津若松市を核にして地域の課題に対応していくという考え方を中心になります。郡山市や福島市では可能なことでも周辺の市町村では成り立たない現実も多くあります。中核市が周辺の市町村と連携し一緒に課題を解決する仕組みを作っていますが、福島市は医療連携や保育所の連携などがあります。経済、医療、消防、文化施設の共同利用など多岐に渡り、一つの市町村だけでは無理なことを連携し地域で取り組む試みです。



## ○政策フォーラムを意見交換の場に

会長：医療の現場では医療安全や感染対策は大変重要です。大規模病院も中小規模病院にも結果が求められます。今回、コロナ禍での看護師の頑張りは処遇改善評価料として認められましたが、2/3の看護師は該当せず民間の中小規模病院の経営は厳しい状況です。本県は200床未満の病院がほとんどですが、地域医療介護総合確保基金を上手に使えたとも思います。県としての対応や基金の活用状況など教えて下さい。

佐藤議員：議員と連携しながら適切なタイミングで助言をもらうのが大切だと思います。市議では遠藤利子議員、県議では病院経営の立場で会津の佐藤郁雄議員がいます。県連には職域支部や友好団体との政策フォーラムという意見交換の場があり140の団体が加盟しています。現場の声を届けてもらう場所として活用して下さい。

会長：現場の問題について、各地区の県議にお伝えしたい時はどのようにすればよいのでしょうか。

佐藤議員：内容をお伝えいただければ適任の議員が対応します。医療に関係すれば保健福祉を担当する福祉公安部会もありますので部会長や県連役員が担当します。その場で回答が難しい時は執行部に持ち帰り、国の方につなぎ少しでも前に進めればと考えています。

会長：遠藤さんの選挙を通して、県議の皆様にお世話になり、より身近になりました。私たちの方が距離を置いていたのかもしれません…

佐藤議員：政策フォーラムの中で自民党県連として受けさせていただき、執行部もきちんと対応しますので効果的だと思います。県連の事務局長宛てに連絡を頂ければ責任をもって対応します。



## ○キャリアを描き、キャリアを積める地域に！

会長：厚労省では「ほぼほぼ在宅」と言っていますが支援するスタッフがいません。訪問看護の問題はまさにこれからもっともっと頑張らなくてはなりません。

佐藤議員：人口減の問題は一丁目一番地です。しかし、いずれ県の人口も120万人まで減るのだから職種も人手も要らなくなるという意見も一方にあります。しかし、健康長寿も含めての計画を目指すのであればこれからの人手不足は社会にとって大きな課題になります。

会長：子育てや福祉を手厚くすると移住者が集まり人口増につながっていると、メディアが成功例として報じていますがそれについてはいかがですか。

佐藤議員：それには様々な見方があります。課題の一つが女性のキャリア問題です。移住で子供が増えても、福島県の中で子どものキャリアを描けますかということです。どうしたら安心して子供たちを教育し地域の中で自分の思い描いているキャリアを積んでいけるのかが重要になります。せっかく福島県で子育ても高校卒業後に都会に出て行ってしまう。子育てしやすいから若い世代が移住しても、子ども、その次の世代と繋かなければ問題の解決にはなりません。

会長：女性のキャリアの問題ですが、女性局の研修会で川口順子先生が「日本はそもそもの教育の中で、女性が男性の後ろにいることを美德とする文化背景があり、東南アジアと比べても多くの分野で女性の進出が低い。自己実現が可能だということを小さい時から示さなければならぬ。男性は変えられなくても自分は変えることができる、他人がどう判断するかではなく自分がやりたいから、そういう社会になるようにしていかなければならない。」ということを話されていました。福島が先駆けになって欲しいですね。

佐藤議員：私の世代は初めて女性の総合職ができた世代で、同期20人のうち7人が女性でしたが、結局女性は残りませんでした。事業所や日本の社会が変わらなければなりません。福島が将来のキャリアを描ける地域になっていかなければなりません。



次号りれい52につづく

# 結の里 竹柳庵 [ちくりゅうあん]

福島県郡山市成田地域にある「結の里 竹柳庵」

福島県郡山市成田地域にある「結の里 竹柳庵」。元福島県議会副議長を務めた柳沼純子氏が、子供や高齢者が安心して暮らせる環境作りなどを目的に立ち上げました。老若男女どなたでも利用でき、500円で淹れたてコーヒーとスイーツが召し上がれます。その他、週替わりイベントも開催されており、専門医師や職員による健康談話や健康体操、折り紙教室なども開催されています。毎週金曜日の12:00には移動マーケットでお買い物も出来ます。誰でも気軽に集まれる古民家サロン、結の里 竹柳庵です!!



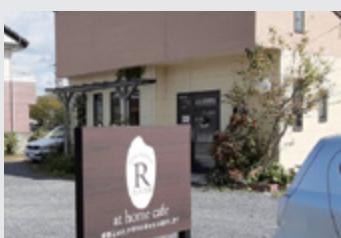
〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字成田76

TEL.024-946-3587 営業時間10:00~16:00 (定休日 日曜日)

## カフェ工房 R

ふわっとした味わい、また食べたくなるシフォンケーキ

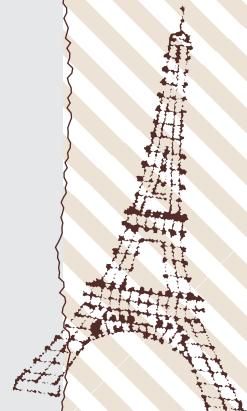
須賀川市には、最新カフェから隠れ家的とあり、魅力ある多くのカフェがあります。今回紹介するのは、須賀川西川にある「カフェ工房 R」。「R」=「リラックス・いやし」という名前にふさわしく、店内は心地よくゆったり過ごせてくつろげます。日替りランチはすべて手作り、ランチプレート内は色々な料理がいただけます。お店のおすすめでもあるシフォンケーキは、無添加でこだわりの粉で作りあげた逸品です。「家庭的な味を…」と言うように、愛情がこもった食事で美味しい・また味わいたいと思わせてくれます。



〒962-0014 須賀川市西川町106-2

TEL.0248-75-1050 営業時間:11:30~14:30 (定休日 日・水曜日・祝日)

編集部  
cafe



# わこうぼう 郡山中町店

うすい百貨店の向かいにあるドーナツ屋さんです！

うすい百貨店の向かいにあるドーナツ屋さんです！県内各地のイベントにも出店されているため、ご存じの方も多いかと思います。日本のドーナツ屋さんの9割が外国産小麦を使用しているなか、わこうぼうさんでは厳選した国産の小麦が使用されています。また、ドーナツ作成の工程で機械や型を一切使わず、すべて職人さんの手作業でひとつひとつ丁寧に作られているそうです。オススメは「ふくしまフルーツものがたり」です。福島のくだもの農家さんの応援・地域活性のため、県内で育ったフルーツを使用した完全オリジナルのドーナツです。ふわふわもちもちのドーナツぜひ試してみてください🍩！



〒963-8004 郡山市中町7-19 デジプラン中町ビル 1F  
TEL.024-955-6648 営業時間：10:00～18:00（定休日 月曜日）

オススメ  
shop  
Coffee time

## CAFÉ monday

バッティングセンター内にあるカフェ

2023年7月にオープンの白河市出身20代男性2人で営業しているお店です。

CAFÉ mondayの名前の由来は、月曜日はなんとなく憂うつ。学校や会社帰りに寄ってもらい「気持ちが楽になる場所」にしたいとの思いだそうです。おススメはハンバーガー!!特にアボカドチーズバーガーは食べ応え抜群。クリーミーなのにヘルシーで女性にも大人気です！BIG BABY ICE CREAMを神奈川から取り寄せており、こちらもおススメです。



〒961-0901 白河市明戸168  
TEL.080-2366-0729 営業時間：11:00～22:00（定休日 水曜日）

# 第18回連盟クイズ

問

読み方を間違いやすい漢字！

正しい読み方はAとBから選んでくださいね！

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 1 凡例   | A、ぼんれい   | B、はんれい   |
| 2 他人事  | A、たにんごと  | B、ひとごと   |
| 3 あり得る | A、ありうる   | B、ありえる   |
| 4 一段落  | A、ひとだんらく | B、いちだんらく |
| 5 早急   | A、さっきゅう  | B、そうきゅう  |



応募  
待ってるよ！



応募方法 ● このページのQRコードからアクセスまたはハガキにて必要事項をご記入の上ご応募ください。

<必要事項> ● 1.クイズの答え 2.郵便番号 3.住所 4.氏名 5.電話番号 6.勤務先

応募宛先 ● 〒963-8874 郡山市深沢一丁目2-10 福島県看護連盟 宛

締切 ● 2024年7月15日(月) 当日消印有効

当選発表 ● 賞品を発送した上で、次号の広報誌にお名前を発表します。

※当選者は福島県内に在住または勤務の方に限らせていただきます。会員・非会員は問いません。

ヒントと応募は  
こちらから



## 第17回 連盟クイズ当選者

応募総数140名

日帰り温泉券 2名

橋本 裕子 鈴木 美代子

スターパックスカード 10名

斎藤 朋子 鈴木 真美 岡部 ゆう子 佐久間 海斗 桑原 幸子

三瓶 みゆき 大槻 喜子 渡辺 紗奈 佐藤 陽 星野 誠

## LINE公式アカウント「アンフィニ」の 友だちになってください！

看護の専門に関することだけではなく、それ以外のトピックも含め日々の看護に役立つような情報をお届けいたします。皆様のお声もいただきながらコンテンツの作成および整理に取り組んでまいります。どうぞ下記からご参加くださいませ。

日本看護連盟公認LINE  
公式アカウント  
「アンフィニ」



令和6年度  
会員募集中！

正会員  
年会費／7,000円

しゃくなげ会員(看護職OB)  
年会費／5,000円

退職後も会員の継続をお願いします。

## 編集後記

新年度も2か月がすぎ、新しい環境・生活にも慣れてきたころでしょうか。わたしは毎年この時期になると、1年目のことを思い出します。新人時代に苦楽を共にした同期との絆はいちばんの宝物です。いつまでも初心を忘れずにいたいですね。カフェ特集では広報委員オススメのお店を紹介しています。皆さんもぜひチェックしてみてください。

### ●広報委員メンバー

委員長／稻村 真理子 (公立藤田総合病院)

委員／有我 真弓 (公立岩瀬病院)

委員／高久 秀樹 (総合南東北病院)

委員／三瓶 華蓮 (日東病院)